

胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡的全層切除術における内視鏡手技の改良と 転帰の改善との関連性

1. 研究の対象

2018 年 4 月から 2025 年 1 月までの期間に当院で胃粘膜下腫瘍に対して内視鏡的全層切除術を施行した患者さま

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

研究目的: 胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡的全層切除術における内視鏡手技の改良と転帰の改善の関連性を検討します。

研究方法: 研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、背景因子と転帰の関連性を評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、治療経過、治療偶発症等の発生状況、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化管内科 上堂 文也 (研究責任者)

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上